

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 細谷 誠
幹 事 松村 昌子
会報委員長 内海 慶介

お知らせ

11月のプログラム

6 (No.1)-地区大会報告
13 (No.2)-クラブフォーラム・卓話
20 (No.3)-客話4

ニコニコBOX;

祝誕生月
陶國君
記念誌が出来ました
丸亀東RC 前山直前会長
丸亀東RC 原50周年実行
委員長

<ニコニコ会計累積/¥114,500>

がんばるBOX;

稲田委員長、有家副幹事大変
有意義なお話ありがとうございました
細谷君
色々頑張ります
松村君
卓話を終えて
有家君
米山の発表を終えて
稲田君

<がんばる会計累積/¥64,000>

例
会
場
・
事
務
局丸
亀
市
塩
飽
町
48
|
1
丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル

■会長挨拶

先週は夜間例会、観月会ということで、大沢委員長はじめ親睦委員会の皆さんありがとうございました。もう一曲二胡の演奏聴きたいな、とも思いましたが、少し足りないくらいがちょうどいいのだと思います。これからもよろしくお願いいたします。

今日は丸亀東RCから前山前会長と原50周年実行委員長が来られています。さて年度も3分の一が過ぎようとしております。そろそろ次年度の体制の話もしなくてはいけなくなってきました。細則第三条第一項によれば役員・理事の指名は、指名委員会または出席会員全会員のいずれか一方あるいは両方によるとされています。ここでまずいずれによるかということを決したいと思います。

議長としては今年度も恒例により指名委員会を利用させていただきたいと存じますが、ご賛同いただけますでしょうか。(拍手による賛意)

続きまして同じく細則第三条第一項によれば、指名委員会の設置にあたりその構成メンバーは会長・副会長・直前・直々前・5代・10代・15代前の会長経験者ということですが、5代前の経験者である岡田会員は副会長でもあり、また10代・15代前の会長経験者の方は退会されておられますので、それぞれ3代前の和泉会員、8代前の夏見会員、16代前の大熊会員にお願いしたいと存じますがご賛同いただけますでしょうか。(拍手による賛意) 今日この例会終了後第一回目の指名委員会を開催したいと思いますので、委員の皆さんはお残りください。

■幹事報告

①10/23 11:30~13:00の間で、事務局の大掃除のご案内

②10/25(土) 高知で地区大会のご案内

③10/31(金) 中期計画委員会が18:00から開催です。

委員の方以外でもぜひご参加ください。その後食事も開催いたします。

④行事案内他

- ・10/19(日) 9:30~16:00丸亀市国際交流協会主催 アートと防災ワークショップ
- ・11/27(木) 14:00~16:00めんどくさいから始める協働の力講演会
- ・とり奉行骨付じゅうじゅう年賀状先行予約販売について 10/20(月) 〆切

■例会事業; 米山記念奨学委員会 稲田委員長

皆さんこんにちは。今日は「米山記念奨学会」についてご報告いたします。実はこの奨学会、日本最大の民間奨学金事業として、外国人留学生のために年間約15億円もの支援を行っており、現在では4,800名を超える奨学生をサポートしています。寄付の仕組みには「普通寄付金」と「特別寄付金」があり、前者は会員ごとの定額、後者は個人の任意寄付となっています。奨学生には、学部生で年間61万円、大学院生では97万円が支給されます。公益法人としての資産は約106億円にのぼり、そのうち実に97%が奨学事業費として活用されています。

私たち丸亀ロータリークラブもこれまで3回「お世話クラブ」を担当し、香川大学の中国人留学生を支援してまいりました。これまでの奨学生たちは帰国後、研究者や経営者として各国で活躍し、恩返しとして寄付をくださる方も増えています。台湾や上海からの寄付も多く、まさに「支援の輪がつながる」活動です。

今後も私たちはこの輪を広げ、互いに学び合い、成長し合える国際交流を続けていきたいと思っています。



(裏へ続く)

2025.10.16
Vol.63
№12
(2991)

●会員卓話: 有家修身会員

今日は、地球温暖化の影響や対策についてお話しします。温暖化は大気中の温室効果ガスの増加によって起こり、産業革命以降、人間の活動がその主な原因となっています。二酸化炭素が全体の約75%を占め、中国やアメリカ、日本などが多く排出しています。その結果、気温上昇や海面上昇、異常気象の増加が進み、豪雨や熱波による被害が世界中で深刻化しています。日本でも猛暑や集中豪雨が増え、農業や健康にも悪影響が出ています。熱中症による死亡者数はこの30年で5倍に増加しました。さらに、感染症の拡大や食料問題も懸念されています。地球温暖化を防ぐには、CO2排出の15.9%を占める家庭からの削減が鍵です。電気やガスの節約、車の使い方を見直すなど、日々の小さな行動が大きな力になります。未来のために、今日からできることを一つずつ実践していきましょう

